

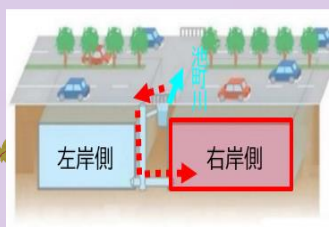
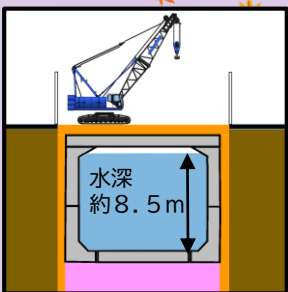
久留米県土整備だより

第37号 (令和7年11月発行)

表面

池町川 (けやき通り)

地下調節池の一時活用で浸水被害を軽減！



約11,700m³貯留しました
(25mプール換算39個分)
※プール1個300m³で計算

金丸川・池町川流域では、度重なる大雨災害に対応するため、浸水対策事業を推進しています。

その取り組みの一つとして、池町川の水を一時的に貯めて調節する「けやき通り地下調節池」を、令和8年の出水期までの運用開始を目指して整備を進めています。

工事中ではありましたが、約12,000m³を貯留できる右岸調節池を、6月から活用し、浸水被害の軽減を図りました。

(6月23日, 7月8日, 7月19日, 8月10日～11日, 10月4日の降雨時に使用)

今後も引き続き、早期の工事完成に向けて取り組んでいきます。

水船谷川砂防ダム本体が 7月に完成しました！

久留米市田主丸町の水船谷川は、令和5年7月に土砂災害に見舞われました。

地元住民の皆様をはじめ、関係各位のご協力により、安全かつ堅固な砂防ダム本体が7月に完成いたしました。

今後も引き続き、ダム下流の渓流を保全する工事を進め、早期の事業完成を目指していきます。



令和7年8月28日撮影

浸水被害軽減へ、 地域一丸で「みんなで流域治水！」を実施

浸水被害の軽減と防災意識の向上を目指し「みんなで流域治水！」が、8月9日に久留米市善導寺町（道の駅くるめ周辺）で開催されました。

久留米県土整備事務所も参加し、企業・市民・行政が一体となって排水路の清掃作業を実施。地域全体で水害に備える意識を高める、有意義な一日となりました。



巨瀬川で「いきものみっけ！」 子どもたちが自然の豊かさを体感



地域の子どもたちが巨瀬川の豊かな自然環境を学ぶ体験学習「いきものみっけ！たい」を8月8日に開催しました。

子どもたちは網を手に水辺で夢中になって魚を探し、また、みんなで「よっこらしょ！」と力を合わせて定置網を引き上げました。

網の中に入っていたコイやウナギなど様々な魚を見て、目を輝かせ、歓声と笑顔があふれる一日となりました。

この貴重な体験学習を通じて、子どもたちは巨瀬川

の環境を守る大切さを肌で感じたことと思います。今後もこのような機会を設けながら、巨瀬川の治水工事を着実に進めていきます。

排水ポンプ車講習で連携強化、迅速な災害対応へ

当事務所には、内水氾濫被害を軽減するため3台の排水ポンプ車が配備されています。

豪雨災害時の排水作業に備え、排水ポンプ車の実演講習会を7月16日に開催しました。

講習会により、職員と操作員の連携を強化し、いざという時、迅速かつ的確に排水作業を遂行する対応力を高めました。



住所：久留米市合川町1642番地の1 久留米総合庁舎 本館 2階（建築指導課は立駐棟1階にあります）

（ご案内）
データでご覧になりたい方は、
横のQRコードを読み込んでください。
福岡県HPへアクセスできます。



発行元
福岡県久留米県土整備事務所 企画班
TEL：0942-36-6304
E-mail：Kurume-kikakuhan@pref.fukuoka.lg.jp
本号発行日：令和7年11月（不定期発行）

